

しおさいかわら版

発行所
小名浜まちづくり
市 民 会 議
TEL: 52-1275
FAX: 52-1415
発行日
平成28年10月20日

第63回 いわき花火大会フォトコンテスト

グランプリは遠藤清作さんの「爽快」

10月2日(日)、タウンモールスポにおいて、第63回いわき花火大会フォトコンテストの表彰式が行われました。約180点の応募作品の中から

「爽快」です。また特選には横山孝さんの「夜空に咲く」、五十嵐榮司さんの

「飛沫」が選ばれました。審査委員からは、「デジタルカメラの普及によりフィルムで撮影した時代よりインパクトのある写真は少ないが、レベルはあがってきている。来年もたくさん応募を望んでいる。」とのコメントが寄せられました。



▶グランプリに輝いた遠藤清作氏の「爽快」



▲特選 五十嵐榮司氏の「飛沫」



▶特選 横山孝氏の「夜空に咲く」

9月全体会議

9月21日(木)、まちづくりステーション小名浜で、9月全体会議が開催されました。

第1部では、小名浜花畑地区景観基本計画について、

いわき市役所都市建設部都市計画課の小林氏・坂本氏から景観形成に関する内容を説明していただきました。景観形成重点地区の指定をうけるまでの経緯、地区景観基本計画を作る流れ、地区景観形成基準についてで

す。よりよい景観形成のために、市民が景観を含めたまちづくりに対する意識を高め、まちづくりをどのようなものにしていくかを考えることが必要となります。

また、第2部では小名浜港3号埠頭東部緑地化計画について、福島県小名浜港湾事務所企画調査課の坂本氏より概要の説明を受けた後、ワークショップ形式にてよりよい計画づくりのためにアイデアを出し合いました。話し合いで出された

さまざまなアイデアを精査し、参考にしながら今後の計画をまとめていくこととしました。



しおかせプロジェクト発進!!

東日本大震災から5年の月日が経過し、復興の途に就こうとしている小名浜で一つの賑わいづくりのプロジェクトが始まろうとしています。

小名浜港には先の大戦後に防波堤の一部として2隻の駆逐艦が沈められました。その二隻の艦名は「汐風」と「澤風」です。「汐風」は今も1号埠頭のいわき・ら・ら・ミュウ付近に眠っており、「澤風」はそのタービンが三崎公園に安置されています。

今、この2隻の駆逐艦をアニメーションの世界で蘇らせ、困難に立ち向かう姿を映像化、それを活用して小名浜の賑わいづくりをしていこうというのが小名浜

まちづくり市民会議で企画する「しおかせプロジェクト」です。アニメーションの製作はエヴァンゲリオンで有名な(株)ガイナックス社の福島現地法人(株)福島ガイナックス社です。アニメーションでの賑わいづくりでは、出演するキャラクターや活躍する場所、その出身や個性の中に、いわきや小名浜の色を吹き込み、実際のまちなかとの重ね合わせる

ことで、人々のまちなかの回遊性、とりわけ地域外からの集客をしかけていこうという試みです。今回から数回に分け、このかわら版で「しおかせプロジェクト」の内容をお伝えしていきます。是非ご期待頂き、このプロジェクトの応援をお願い致します。



▶写真の中の何かが重要なカギを握る？

江名のまちを歩いてみよう!!

「海あるき町あるき江名の町再発見」を今年も10月30日(日)に行います。この事業はいわき市のまち・未来支援事業で、今年で3年目になります。江名の町は、昔は漁業の町として、栄えていましたが震災の影響もあり今は人口も激減しています。そんな町に、



活気と人の流れを呼び込むと、私たち江名の町再生プロジェクトは江名港でイベントを開催しています。昨年は大盛況で、約3千人の来場者がありました。今年も、メインのサンマの炭火焼無料体験や、地元の小・中・高校のさまざまなステージショー、レジャーボートの体験乗船、アクアマリンふくしまの移動水族館、そして、地元郷土料理の販売などを企画しています。ぜひお越し頂ぎ、楽しい一日を過ごしてみたいかがですか。

護衛艦「ちくま」小名浜港に来港

10月16日(日)、いわき市市制50周年を記念した、小名浜まちづくり市民会議主催の胃・飾・縦プロジェクトの1つとして、自衛隊の護衛艦「ちくま」が小名浜港に来港します。係留は藤原ふ頭で、この来港に際し、歓迎セレモニーと一般公開が予定されています。

当日はアクアマリンパークで大物産展も開催されており、この2つのイベント間をシャトルバスで結ぶ予定です。是非、お出かけください。

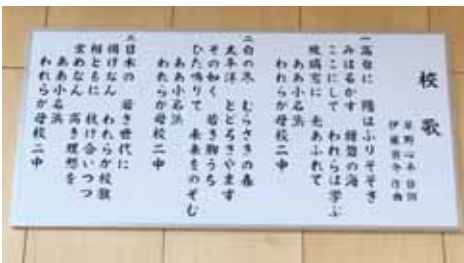


小名浜学事始め

『小名浜第二中学校校歌』

小名浜第二中学校の校歌「高台に陽はふりそそぎ／みはるかす紺碧の海／ここにわたれば学ぶ／ガラス窓に光あふれて／ああ小名浜われらが母校二中(一番全部)／白の冬むらさきの春／太平洋とどろきやまず(2番の出だし)」の作詞者は草野心平です。彼は市内の学校23校、全国では100校を超える校歌をつくりました。いわき市の名誉市民に選ばれ、文化勲章を受章している心平ですが、85年間の生涯は、天職としての詩

人だけでは生活ができず、新聞記者・編集者の他に居酒屋火の車、バー学校など飲食業の仕事もしました。小名浜第二中学校が開校したのは、昭和26年(1951)4月、校歌は28年12月につくられました。



▲小名浜二中体育館にある校歌

めがかりの囃き



8月5日、いわき市市制50周年を記念した花火大会が開催されました。今年は例年以上に球数を増やし、その内容も充実したものであったと思います。この花火大会は大きく3つのイベントで構成されている「いわき花火大会」の1つです。3つのイベントとは、プレイベントで海との親水性を感じていた「おなほま海遊祭」。いわきを象徴する熱い踊りを披露する「いわき踊り小名浜大会」。そして文字通り夏の夜空を彩る

「いわき花火大会」です。どのイベントも小名浜に元氣や賑わい、そしてお越し頂いた皆さんの笑顔を増やそうという熱い想いを持つ方々が実行委員会を組織し、それぞれの仕事の合間を縫ってボランティアで企画立案からその実行まで、関係各位のご協力のもと進んでいるイベントです。今ではいわき市を代表する夏のイベントになりました。このイベントが毎年、どのように計画され進められていくかを何回かに分けてご紹介できればと思います。ご期待ください。(著・F・O)

小名浜みなと学講座開講

「伝えたい、誇れるいわき」を発見・発掘することを目的に、11月から来年の2月まで、月1回、計4回の講座が、毎回違う講師をお招きして開催されます。

主催はいわき市。今回は小名浜の「港」を中心に地域を学ぶ内容で構成されます。是非この機会に地域に対する誇りと愛着を感じる一助にしたいだければと思います。詳しくは小名浜まちづくり市民会議事務局までお問い合わせください。

一 小名浜まちづくり市民会議会員の皆様へ

10月全体会議を開催します

10月27日(木)午後6時30分より、まちづくりステーション小名浜3階において、10月全体会議を開催します。今回は「ランドデザイン※見直しのための勉強会」を開催します。平成13年に策定されたランドデザインですが、時代や環境の変化とともに見直しが必要となってきました。現在の状況をふまえ、どのように修正していくかを考えていきます。会員の皆様はふるってご参加ください。

小名浜まちづくり市民会議とは…

小名浜に住む人、小名浜を心から愛する人、小名浜を輝かせたいと思っている人々が集まり、関係機関・団体と協働で小名浜のまちづくりを進めている団体です。



市民会議では随時FBに活動状況をアップしています。見つけたらぜひ、友達申請 してね!

会員募集

小名浜まちづくり市民会議では随時、会員を募集しています。学生さんも、働くお父さんも、子育てに励むお母さんも、年齢は問いません。皆さんも一緒に素敵な未来の小名浜を創りませんか?

年会費 個人会員：3,000円 企業会員：20,000円 団体会員：12,000円

お問い合わせ・お申し込みは：いわき市小名浜字本町11-1(まちづくりステーション小名浜)
TEL: 52-1275 FAX: 52-1415
http://www.onahama.jp/ E-mail: info@onahama.jp

この広報物は、小名浜地区行政嘱託員(区長)連合会の御協力により配布しております。